**事業報告書**

**令和6年4月～令和7年3月**

****

**社会福祉法人　幸雪会**

**目　次**

**Ⅰ.　理念**

1.　基本理念

　2.　事業理念

　3.　沿革

　4.　事業サービス概要

**Ⅱ.　令和6年度事業活動報告**

1.　社会福祉法人幸雪会　法人事業報告

　2.　法人本部より報告

　　　・サービスの質の向上

　　　・安全対策

　　　・感染症対策

　　　・環境整備

　　　・経費節減

　　　・人材創出と育成

　　　・年間行事企画

　3.　特別養護老人ホーム遊陶里事業報告

　　　・運営状況・利用状況

　4.　看多機遊陶里事業報告

　　　・運営状況・利用状況

　5.　ショートステイ遊陶里

　　　・運営状況・利用状況

　6.　デイサービス咲陶里

　　　・運営状況・利用状況

　7.　看多機陶里夢

　　　・運営状況・利用状況

　8.　訪問看護ステーション遊陶里

　　　・運営状況・利用状況

　9.　その他事業所報告

　　　Ⅰ.住宅型有料老人ホーム小陶里

　　　Ⅱ.住宅型有料老人ホーム咲陶里

**Ⅲ.　総括**

**Ⅰ.　理 念**

**1.基本理念**

**『和敬清寂』**

**2.事業理念**

『自宅のくつろぎに医療の機能を。』

『地域をささえる総合福祉サービスとともに、住み慣れた場所、なじみの顔で自分らしい生活と自分らしい人生を。』

**3.沿革**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年 | 月日 | 歩み |
| 平成25年 | 6月19日 | 社会福祉法人幸雪会　設立 |
| 平成26年 | 7月1日 | 特別養護老人ホーム遊陶里　開設 |
| 平成27年 | 4月1日 | 住宅型有料老人ホーム小陶里　開設 |
| 平成30年 | 4月1日 | 住宅型有料老人ホーム咲陶里　開設 |

**4.事業サービス概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 【地域密着型サービス】 | 【事業所】 |
| 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護  看護小規模多機能型居宅介護  看護小規模多機能型居宅介護 | 特別養護老人ホーム遊陶里  看多機遊陶里  看多機陶里夢 |
| 【指定居宅サービス】 | 【事業所】 |
| 短期入所生活介護  訪問看護  通所介護 | ショートステイ遊陶里  訪問看護ステーション遊陶里  デイサービス咲陶里 |
| 【その他】 | 【事業所】 |
| 住宅型有料老人ホーム | 住宅型有料老人ホーム小陶里  住宅型有料老人ホーム咲陶里 |

**Ⅱ.　令和6年度事業活動報告**

**1.社会福祉法人幸雪会　法人事業報告**

令和6年度の振り返りとして、4月に介護報酬改定及び診療報酬改定、薬価改定のトリプル改定が実施されました。6月には介護職員処遇改善加算、介護職員等特定処遇改善加算、ベースアップ等支援加算が介護職員等処遇改善加算に一本化され慌ただしいスタートとなりました。感染症に関しましては、ワクチン接種の奨励や新薬の研究・開発も進み、一昨年5月に新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」の分類へと移行されて以来、少しずつではありますがパンデミック前の状況に戻りつつあると感じられます。

　法人全体として令和6年度を検証しますと実績として前年比104.3％で終えることができました。上半期の前半3ヶ月は、前年度下半期後半からの各施設での入所者様及び入居者様の定員割れの影響を受け厳しいスタートとなりましたが、7月以降は順調に回復することができ、最終的には前年度を上回る結果となりました。また、一昨年に開設した看多機陶里夢（看護小規模型居宅介護）も一定の利用者様の獲得ができ実績に大きく寄与したと考えられます。

　重点課題に対しては、特に「サービスの質の向上」を強化し「人材創出と育成」と合わせて「人」「物」「金」を注力してきました。しかしながら、上半期は離職者が散見され大きな成果は見られませんでしたが、下半期には成果が顕著となりようやく充足した体制を整えることができました。8月には特定技能外国人の雇用を導入し、長期に渡って安定した体制を維持できるように推進しました。

　また、一昨年より国際的な原材料価格の上昇による物価高騰が続いています。要因としては、ロシアのウクライナ進行によるエネルギー価格の上昇、円安による輸入コストの増加、新型コロナウイルス感染症のパンデミック以降のサプライチェーンの混乱などが考えられます。物価上昇指数は前年比約3％上昇し経費を圧迫しています。これらの状況を踏まえて法人においては、各部署間での連携を図り経費節減について検討し実際に導入して効果の検証を行って節減に努めました。

　最後になりますが、令和6年度はほとんどことがコロナ禍以前と変わらない日常生活に戻りました。法人としてもコロナ禍以前と同様のサービスの提供と活動を目指して運営してまいります。

**2.法人本部より報告**

**【サービスの質の向上】**

　今年度の最重点課題として『サービスの質の向上』について取り組んでまいりました。まず最も基本的な項目として、法人理念及び事業所の運営方針・行動指針の周知と浸透についてですが、全体会議や職員個人面談の場においてより具体的に啓蒙して周知・浸透に努めました。

　また質の高いサービスの提供については、全体会議における情報の共有化や定期的な内部研修の実施、フロア会議及び各委員会での課題や問題点の抽出等を検討して介護職員が知識・技術の向上に結び付け質の高いサービスを心掛けました。運営推進会議では、これらの実施状況を発信して外部評価をいただき介護現場にフォードバックを行い検証しました。

**【安全対策】**

　各施設で有事の際に迅速な行動をとれるよう大幅なインカムの導入を図りました。運用方法についてもマニュアル化して定期的に訓練を行い、全職員が有事に対して円滑に対応できることを目標に実施しました。転倒リスクの高い入所者様・入居者様への、見守りセンサーの導入は、来年度以降の課題となってしまいました。入所者様・入居者様のリスク回避や職員の業務の効率化、費用対効果等を鑑みて来年度も検討していきます。また緊急時を想定し、災害用ソーラーパネル付発電機を新たに導入してライフライン寸断に備える体制を整えました。

　事故再発の対策として、リスクマネジメント委員会で事故報告を検証・分析し改善案を関係者及び関係部署に周知して再発の防止に努めました。隔月で開催される運営推進委員会の場においては、一部の事故報告の内容を抜粋して外部からの評価を請っています。

**【感染症対策】**

新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」の分類へと移行され一年以上が経ちました。法人においては令和6年7月に1ユニット、11月から12月にかけて2ユニットでクラスターが発生しましたが、重症化することはなく2週間程度で鎮静化しました。季節性インフルエンザウイルスについては、罹患する方もほとんどなく流行期を回避することができました。

　清掃・消毒の徹底、換気の励行、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保などを基本し感染症の侵入や拡大防止に努めました。また事業継続計画（BCP）に基づき備蓄倉庫の整備を行い備蓄品の拡充を図るとともに、定期的にシミュレーションに則した訓練を実施し有事の際に対応できるスキルを習熟しました。

　知識面では、感染対策委員会・看護部を中心として内部研修を実施して、さまざまなウイルス・細菌の種類や特性への理解を深めました。予防対策及び罹患対策についても学習し流行期やパンデミック発生にも全職員が冷静に対応できるように努めます。

**【環境整備】**

　特別養護老人ホーム遊陶里、住宅型有料老人ホーム小陶里の2施設が10年を迎え設備関連に経年劣化等の影響が散見されます。まず現在使用しているパソコンについてですが、5年以上使用している機種が多く処理能力的に問題が生じる可能性が高いため大規模な入替を行いました。またパソコンの入替に伴い特別養護老人ホーム遊陶里のインターネット回線の再構築も同様に着手しました。インターネット回線はパソコン台数の増加、防犯カメラの増設、システム導入の影響等による回線速度の遅延の問題がありましたので判断に至りました。

　さらに特別養護老人ホーム遊陶里の居室設置分のエアコンについても一部を除き全ての製品を新規品に変更しました。来年度には住宅型有料老人ホーム小陶里の入替を予定しています。

　また全ての施設において設備上の不備や機能的な不具合が生じた場合は速やかに対応し、ストレスの少ない安全で心地よいスペースの提供に努めました。

**【経費節減】**

　前年度から引き続き物価高騰が継続されています。要因として不安定な世界情勢の影響や、急激な円安、賃金の上昇等、複数の要因による原材料費の上昇によって生じていると考えられます。令和6年度も消費者物価指数が前年比約2.7％上昇し経営的な側面からは厳しい年度となりました。

　当法人では、特に水道光熱費・食費等の価格上昇が大きく経費を圧迫しました。水道光熱費につきましては、前年度に特別養護老人ホーム遊陶里施設内の照明器具をLEDに変更し、蛇口の水圧調整機器を導入して対策を講じました。若干の成果は得られましたが、今後も長期的な視点で検証し精査してまいります。

　食費ついては、コスト面と入所者様・入居者様の意見やニーズを考慮して配食サービスの選定や食事形態の見直しを行い、顧客満足度を検証しながらコストの削減に努めました。

また職員のコスト意識の向上を啓蒙し徹底的にムダを排除することに取組んだことにより僅かながらではあるが法人全体の意識改革に繋がったと感じられました。

令和7年度は各施設でのインフラ整備や見守りセンサーの導入も検討しており、また建物の経年劣化による補修工事や機器類の入れ替えによる経費増が予測されるため、経費節減については引き続き取り組み強化していきます。

**【人材創出と育成】**

　今年度は、2名の特定技能外国人（ミャンマー）の雇用を行いました。初めての特定技能外国人の雇用でありましたが、憂慮していた問題のなく円滑に導入することができました。来年度は、4名の特定技能外国人の導入を予定しており運営面において安定した人員の確保が期待できます。

　学卒求人については、少子化問題に伴い1名のみの採用となり前年度と同様に厳しい結果となりました。中途採用者については、引き続き人材紹介会社との連携体制を強化し定期的なイベントへの参加を積極的に行い、雇用の創出に繋げました。

　育成面としては、外部研修への参加を促進し知識・技能の習得による職員のスキルアップを目指しました。また資格取得に向けて初任者研修・実務者研修・ユニットリーダー研修・認知症実践者研修等の受講を推進し支援体制の強化に努めました。

**【年間行事企画】**

|  |  |
| --- | --- |
| **年　月** | **行　事** |
| 令和6年4月 | お花見（桜）、おやつレク（中庭） |
| 令和6年5月 | 端午の節句、母の日、健康診断、消防訓練 |
| 令和6年6月 | 父の日、 |
| 令和6年7月 | 七夕、事業所自己点検 |
| 令和6年8月 | 夏祭り、おやつレク（中庭） |
| 令和6年9月 | 敬老会、 |
| 令和6年10月 | 秋祭り、だんじり祭り、ハロウィン祭 |
| 令和6年11月 | 消防訓練、外出レク |
| 令和6年12月 | クリスマス会、健康診断 |
| 令和7年1月 | 初詣（エントランス）、獅子舞、新年会 |
| 令和7年2月 | 節分、事業所自己点検 |
| 令和7年3月 | 雛祭り、お花見（梅） |

※手芸クラブ・絵手紙クラブ・書道クラブ（毎月1回開催）

※移動スーパー（毎月4回訪問）

**3.特別養護老人ホーム遊陶里事業報告**

**【運営状況】**

当事業所も開設10年を過ぎ、令和6年4月度は前年度の煽りを受け低調な稼働率となりましたが、以降は安定した稼働率を確保することができました。夏期には入院される入所者様が散見されましたが、年間の稼働率としては、前年を1.8％増の95.3％の稼働率で終えることができました。利用者様の退所に伴う空床を縮小するため、引き続き各部門・各事業所及び地域のケアマネージャーや地域包括支援センター等と連携を図り、早期の新規入居者様の受け入れに努め、地域に貢献できる施設づくりを目指していきます。

**【入居者状況】**

〈定員29名〉令和6年4月～令和7年3月

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 期首在所 | 期中入所 | 期中退所 | 期末在所 | 延稼働日数 | 延在所日数 | 稼働率 |
| 27 | 8 | 6 | 29 | 10,614 | 9,898 | 93.5％ |

〈要介護別構成表〉令和7年3月末現在

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 要介護度 | 男性 | 女性 | 計 | 構成比 |
| 要介護3 | 1 | 4 | 5 | 17.2％ |
| 要介護4 | 6 | 11 | 17 | 58.6％ |
| 要介護5 | 3 | 4 | 7 | 24.1％ |
| 合計 | 10 | 19 | 29 | 100.0％ |
| 要介護平均値 | 4.2 | 4.1 | 4.1 |  |

〈年齢・男女別構成表〉令和7年3月末現在

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年齢 | 男性 | 女性 | 計 | 構成比 |
| ～74歳 | 0 | 0 | 0 | 0.0％ |
| 75歳～79歳 | 1 | 3 | 4 | 13.8％ |
| 80歳～84歳 | 3 | 3 | 6 | 20.7％ |
| 85歳～89歳 | 3 | 4 | 7 | 24.1％ |
| 90歳～95歳 | 3 | 3 | 6 | 20.7％ |
| 95歳～99歳 | 0 | 5 | 5 | 17.2％ |
| 100歳～ | 0 | 1 | 1 | 3.4％ |
| 合計 | 10 | 19 | 29 |  |
| 男女構成比 | 34.5％ | 65.5％ |  |  |
| 最低 | 78歳 | 76歳 |  |  |
| 最高 | 92歳 | 101歳 |  |  |
| 平均 | 86.1歳 | 89.0歳 | 88.0歳 |  |

**4.看多機遊陶里事業報告**

**【運営状況】**

　今年度は、前半の2ヶ月間は苦戦しましたが令和6年6月以降は平均的な実績で終えることができました。前年度と同様、サービスの終了に至った利用者様が散見されましたが、一年間を通じては前年比約100.6％とほぼ横ばい実績を確保することができました。登録者数は、定員29名に対して期首の22名から期末には28名まで回復するに至りました。

サービス利用回数は、訪問系のサービスが減、通所及び宿泊が増で全体的では微増の結果となりました。今後も地域包括支援センターや居宅支援事業所との連携を強化し安定した定員の確保を目指し運営してきます。

**【利用者状況】**

〈定員29名〉令和6年4月～令和7年3月

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 訪問看護 | 通所 | 訪問介護 | 宿泊 |
| 888 | 3,938 | 3,610 | 2,003 |

〈要介護別構成表〉令和7年3月末現在

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 要介護度 | 男性 | 女性 | 計 | 構成比 |
| 要介護1 | 2 | 1 | 3 | 10.7％ |
| 要介護2 | 2 | 3 | 5 | 17.9％ |
| 要介護3 | 5 | 6 | 11 | 39.3％ |
| 要介護4 | 5 | 3 | 8 | 28.6％ |
| 要介護5 | 1 | 0 | 1 | 3.6％ |
| 合計 | 15 | 13 | 28 |  |
| 要介護平均値 | 3.1 | 2.8 | 3.0 |  |

〈年齢・男女別構成表〉令和7年3月末日現在

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年齢 | 男性 | 女性 | 計 | 構成比 |
| ～74歳 | 2 | 2 | 4 | 14.3％ |
| 75歳～79歳 | 5 | 4 | 9 | 32.1％ |
| 80歳～84歳 | 2 | 2 | 4 | 14.3％ |
| 85歳～89歳 | 2 | 1 | 3 | 10.7％ |
| 90歳～ | 4 | 4 | 8 | 28.6％ |
| 合計 | 15 | 13 | 28 |  |
| 男女構成比 | 53.6％ | 46.4％ |  |  |
| 最低 | 69歳 | 67歳 |  |  |
| 最高 | 100歳 | 99歳 |  |  |
| 平均 | 83.5歳 | 82.2歳 | 82.9歳 |  |

**5.ショートステイ遊陶里事業報告**

**【運営状況】**

　今年度は85.0％以上の稼働率を目標に掲げていましたが、約89.4％を達成することができました。前年比につきましても、約114.7％と大幅な実績増となりました。前半3ヶ月は稼働率80.0%以下の厳しいスタートなってしまいましたが、令和6年7月以降はすべての月において80.0％以上稼働率で推移し、前年比で年間を通じて約10.6ポイント増で終えることができました。今年度は特に新規長期利用者様の獲得が全体的な実績の底上げに繋がったと考えられます。

　来年度も居宅支援事業所と連携し利用者様の安心と安全を確保し、またサービスの質の向上に努め信頼のいただける事業所を目指していきます。

**【利用状況】**

〈定員10名〉令和6年4月～令和7年3月

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 稼働日数 | 延稼働日数 | 延利用日数 | 稼働率 |
| 365 | 3,650 | 3,264 | 89.4％ |

**6.デイサービス咲陶里事業報告**

**【運営状況】**

　前年度は、職員の人員不足や新事業所の開設等の影響を受けて定員25名を20名に変更しました。業績としては、前年比約92.1％で終わりましたが、稼働率としては約0.2ポイント改善することができました。一年間を振り返りますと令和6年5月、6月が稼働率70.0％を下回り、12月に新型コロナウイルス感染症のクラスターが発症し稼働率約66.7％にとどまったことが悔やまれます。

今年度は、稼働率の改善を課題として取り組みましたが前述したとおり微増で終わってしまいました。来年度も同様の課題で取り組み、体制が整えば定員の増加を視野に入れてより地域に貢献できるように努めていきます。

**【利用者況】**

〈定員20名〉令和6年4月から令和7年3月

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 稼働日数 | 延利用者数 | 延利用者実人数 | 稼働率 |
| 360 | 7,200 | 5,458 | 75.8％ |

**7.看多機陶里夢事業報告**

**【運営状況】**

　令和5年10月より看多機遊陶里のサテライト事業所として新規開設し、初年度は定員18名に対して16名の利用者様の確保にとどまりました。今年度は定員18名の確保を目標に掲げ運営してまいりましたが、残念ながら最終的には17名の定員登録で終わってしまいました。一時的には18名の定員登録もあり、実績としては及第点であったと思いますが、来年度は今年度以上に安定した実績と定員確保を目指してまいります。まず当面の目標としては新規定員の獲得を急ぎ、定員割れを解消して今年度を上回る実績を残せるように努めます。

　また地域において、看護小規模多機能型居宅介護の特性を生かし、利用者様のニーズに則した質の高いサービスの提供を目標として尽力してまいります。

**【利用状況】**

〈定員18名〉令和6年4月から令和7年3月

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 訪問看護 | 通所 | 訪問介護 | 宿泊 |
| 859 | 1,717 | 2,825 | 0 |

〈要介護別構成表〉令和7年3月末現在

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 要介護度 | 男性 | 女性 | 計 | 構成比 |
| 要介護1 | 0 | 3 | 3 | 17.6％ |
| 要介護2 | 1 | 4 | 5 | 29.4％ |
| 要介護3 | 1 | 7 | 8 | 47.1％ |
| 要介護4 | 0 | 1 | 1 | 5.9％ |
| 要介護5 | 0 | 0 | 0 | 0.0％ |
| 合計 | 2 | 15 | 17 |  |
| 要介護平均値 | 2.5 | 2.4 | 2.4 |  |

〈年齢・男女別構成表〉令和7年3月末日現在

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年齢 | 男性 | 女性 | 計 | 構成比 |
| ～74歳 | 0 | 0 | 0 | 0.0％ |
| 75歳～79歳 | 1 | 0 | 1 | 5.9％ |
| 80歳～84歳 | 1 | 4 | 5 | 29.4％ |
| 85歳～89歳 | 0 | 7 | 7 | 41.2％ |
| 90歳～ | 0 | 4 | 4 | 23.5％ |
| 合計 | 2 | 15 | 17 |  |
| 男女構成比 | 11.8％ | 88.2％ |  |  |
| 最低 | 78歳 | 81歳 |  |  |
| 最高 | 82歳 | 99歳 |  |  |
| 平均 | 80.0歳 | 87.3歳 | 86.4歳 |  |

**8.訪問看護ステーション遊陶里**

**【運営状況】**

今年度の実績は、前年に引き続き前年度を大きく下回る実績となってしまいました。既存の利用者様のサービス終了や新規利用者様の獲得が低調に終わり、残念な結果で終えることとなりました。目標としていた看護職員の雇用も2名採用することができましたが、採用を上回る4名の退職者があり年間を通じては2名減となってしまいました。来年度も看護職員の確保が最大の課題となり、多岐にわたる手段を駆使して早期の改善を図りたいと思います。

**9.その他事業所報告**

**Ⅲ.　住宅型有料老人ホーム小陶里**

　前年度の後半に退去者が散見し、令和6年3月度末時点で4室の空室があり4月度から厳しいスタートとなりました。8月度までは、入退去者が多く空室が目立つ状態で推移していましたが、9月度より安定した入居者数を確保することができました。今年度の前半は厳しい状態が続いたため、関連性の高い看多機遊陶里の前半の実績に影響を及ぼし、実績に大きく反映されました。来年度は満室の状態を維持するため各部門・各事業所及び外部関連機関との連携を図り、退去者があれば迅速に対応できる体制を構築していきます。

**Ⅳ.　住宅型有料老人ホーム咲陶里**

今年度も安定して高い水準の入居率を維持することができませんでした。要因としては、前年度と同様に当法人内の他の事業所や施設に転出される入居者が多く、また体調不良・骨折等による入院も散見され、退所に繋がってしまう事案もありました。年度後半には落ち着きましたが、安定した入居者様の確保に向け住宅型有料老人ホーム小陶里と

**Ⅲ.　総括**

　令和6年度は法人全体としては、暫定ではありますが前年比104.5％で終えることができました。上半期の前半3ヶ月は前年比95.9％と厳しいスタートとなりましたが、令和6年7月以降はほとんどの月で前年同月比を上回り、最終的には一昨年並みの業績となりました。事業所別には特別養護老人ホーム遊陶里においては103.4％、看多機遊陶里100.6％、ショートステイ遊陶里114.7％、デイサービス咲陶里92.6％、看多機陶里夢200.1％、訪問看護ステーション遊陶里約41.0％と事業所別には少なからず差異が生じました。

　各事業所の様々な要因として特別養護老人ホーム遊陶里では、入居者様の確保や職員の安定した雇用、ショートステイ遊陶里においては、新規利用者様の獲得と長期利用へのシフト、看多機陶里夢では、住宅型有料老人ホーム咲陶里の入居率の拡充に伴う定員の確保などがプラス要因として挙げられます。一方マイナス要因としては、デイサービス咲陶里の人員不足による稼働率の低下や定員数を拡大できなかったことが挙げられます。

　次に重点課題として掲げた項目については、一定の成果があったと考えています。職員に対しての意識づけや動機づけも、会議等の場において啓蒙を継続することにより浸透しつつあると感じられました。インフラの整備・導入に関しても期首に掲げていた計画に対して、ほぼ予定通りに施行・導入することができました。職員の人材創出については、多くの事業所で継続して行ってきた雇用促進活動が実を結びつつあり、ある程度の人員不足の解消に繋げることができました。また令和6年8月度より特定技能外国人（ミャンマー）の雇用を実装しましたが、特に大きな問題も生じることがなく来年度には更に4名の雇用を予定しております。育成面では未経験者、無資格者に認知症基礎研修の受講を推進し、資格取得においては支援体制を強化しました。

　最後に今年度に課題としていた事案を検証して、達成できなかったことは引き続き課題として対策を講じ、また新たな課題に対しては、法人一丸となって検討して安全と安心・信頼を得られる『施設づくり』を目標とし地域社会に貢献できるように努めてまいります。